

うしおだ健康クリニック 院内新聞 はじめまして号 「今日も 健康 に ありがとう」

住所／帯広市大通南 13 丁目 5 番地ぜんりん会館ビル 1 階
電話 0155-65-5511 ホームページ <https://ushioda.net/>



自己紹介

はじめまして、院長の潮田 英明（うしおだ ひであき）です。昭和 40 年 11 月生まれ、神奈川県で育ち、県立厚木高校（卒業生で有名人は、名取裕子さん、歌手のいきものがかりなど）で卓球ばかりの生活を送り、平成 4 年に筑波大学を卒業、偶然にも医師になることができました。北海道の自然に憧れ、大学卒業後、北海道に移住しました。小児科医として医師としての生活を開始し、その後、全ての年代の方々の健康に関わりたくて内科医へ変わりました。

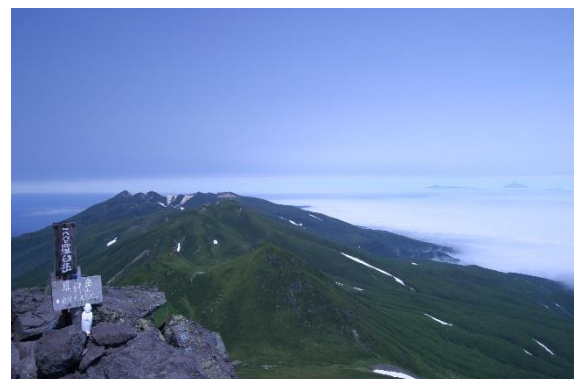


趣味は、季節がはっきりしている北海道の自然を楽しむことです。春は桜を見に行き、夏はラベンダーや高山植物の花々をカメラにおさめ、秋は紅葉、冬はスノーボードをして温泉を楽しむのが楽しみです。

北海道の山は本当にきれいです。これまで登った山をあげると、利尻山、羅臼岳、斜里岳、西別岳、旭岳、黒岳、トムラウシ山、白雲岳、赤岳、緑岳、ニペソツ山、富良野岳、十勝岳、雌阿寒岳（オンネトーがきれい）、雄阿寒岳、大雪高原温泉沼めぐり（山ではないですが、紅葉の頃は絶景です）、白雲山（然別湖を一望）、摩周岳（山頂からみる摩周湖は最高）、樽前山、羊蹄山、ニセコ山、函館山（ロープウェイを使わず登るのがおススメ）などです。登山初心者の方は雌阿寒岳や摩周岳、白雲山、樽前山などが手軽だと思います。強い印象を受けた山は、ニペソツ山、利尻山です。登山はやはりきついです、頑張った、努力した成果があり、達成感が得られるのが好きなところです。



利尻山 山頂にて



知床 羅臼岳 山頂からの眺め

うしおだ健康クリニックは、こんな医療機関です

●診療分野…糖尿病、高血圧、脂質異常症、アレルギー疾患（喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症など）、ストレス疾患（不眠症、自律神経失調症、頭痛、肩こり、腰痛など）、睡眠時無呼吸症候群、骨粗鬆症、消化器疾患（便秘、下痢、過敏性腸症候群、胸焼けなど）、甲状腺疾患、介護予防、訪問診療 その他

病気だけでなく、人を癒す医療機関でありたい

病気のことをきちんと説明して、患者さんと一緒に病気を良くしたい

かっこいいことを言って、申し訳ありません。「そんなこと言って、できていないじゃないか」と言われそうですね。その通りです。くどい、長い説明になってしまっていると、自分でも思います。しかし、私は幼少期からアトピー性皮膚炎という病気で苦しみ、健康に人一倍憧れて生きてきました。「この病気がなかったら、どんなに楽だったろう」と何度思ったかわかりません。「この病気を治してくれる先生に会いたい、親身にみてくれる先生に出会いたい」小学生の頃から、こんなことを思っていました。しかし、その頃、病気のことをきちんと説明してくれる医師はいませんでした。

医学生の時、私は強く思いました。「医者になったら、患者さんがわかるような説明をきちんとする医者になる」と。創意工夫を繰り返して、今は、自分のつたない健康講演をビデオに撮ってそれをDVDにして伝えることを行っています。「こんなもので説明になるのか？」と落ち込むことも多々あります。もっとわかりやすくしたいと思い、日々、いろいろな情報を見て、学ぶ日々です。

患者さんからの質問、問いかけは、私の宝物です

これもかっこいいことを言ってしまいました。日々の患者さんとの会話は私にとって宝物です。私が医師として成長する糧になります。貴重なものです。質問に答える時間がないときには、次回までの宿題にさせてください。

医療の進歩は本当に速いです。一生勉強しなければならない、つらい仕事です。でも、患者さんが「先生のおかげで、こんなに良くなったよ」と言われると、もっともっと頑張ろうと思ってしまう。

「その病気は、一生治らないよ」などと、きついことを言う医師も多いです。確かに、糖尿病や喘息など、体質が強く関わっている病気がすっかり治るということはないのかもしれませんが、その体質をおさめる努力はできるはずで、病気とうまくつきあう方法を示すのが医師だと思います。体質を上手に変えるという意味では、漢方は最高の治療だと思います。漢方は、体にやさしく（まれに副作用がありますが）、速効性があります。

患者さんとの出会いは、一期一会そのものです。少しでも皆様から信頼される医療を行うことができるように、私は努力していきたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。